

# 令和元年度第3回青梅市図書館運営協議会会議録

令和2年3月2日（月）午後6時～  
青梅市中央図書館ボランティア室

## 1 あいさつ

会 長

## 2 報告事項

### (1) 指定管理者による図書館の管理運営について

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

(委 員) 利用実績ですが、全体として貸出者数や貸出冊数、団体貸出しも減っているという報告がありました。分館によっては利用が増加している館もあり、分館が増えているにもかかわらず全体が減っている要因は何でしょうか。

(指定管理者) 全体としては約3パーセント減少ですが、中央だけに絞りますと約7パーセント減です。分館9館と中央では、中央の方が蔵書数や貸出数が多いため、分館の貸出数が増えても相対的には少し下がってしまいます。分館が9館あってもプラスになりません。

(委 員) 行事等を多数企画しているのに減少している。本に対する関心が全体的になくなってきているのでしょうか。身近な分館が増加しているということは、割と手ごろに借りられているということですね。

(委 員) 行事ですが、参加人数は、場所や企画によっていろいろ違うと思います。レギュラー行事で人気のあるものはどんなものですか。また、参加想定人数があれば教えてください。

(指定管理者) 中央図書館の多目的室の収容人数は約60人です。映画会はたいてい満席状態です。

また、中央図書館のおはなしの部屋は収容人数が約30人です。11月24日の「ちっちゃい子のおはなし会」は、お子さんと保護者でほぼ満席の状態でした。分館図書館のおはなし会・工作会は多くて20人位です。大勢の方に御参加いただき、ボランティアさんや図書館のスタッフも非常にやりがいがあります。

(委 員) 行事の中にいわゆる本の福袋やくじ引きなど、中にどんな本が入

っているか分からないというワクワク感がある企画を用意すると、どの位貸出があるのでしょうか。

(指定管理者) 中央は今年一回行いましたが、用意した本の包みは一週間位でなくなりました。割と人気が高い企画だと思います。分館はすでに何回も行っているので、行事として根付いてきていると思います。

(委員) 本を選ぶきっかけになるので是非続けてください。多くの方が楽しめると思います。

(委員) 複写機のコピー枚数ですが、昨年と比べ今年は複写の枚数が減少しています。これは、前回協議会で話があった警察捜査絡みの事案で、全国の電話帳のコピーがあった件と関係がありますか。そのことにより、昨年はイレギュラーでコピー枚数が多かったということでしょうか。

(指定管理者) そうです。

(委員) 学校司書報告に、西中の学校図書館に本屋大賞の展示を行った写真がありますが、今の中学生は直木賞などの文学賞に興味がありますか。

(委員) 本屋大賞も最近よく聞く文学賞ですね。読書に興味を持ち、たになれば良いと思います。

(指定管理者) 本屋大賞の本は子供だけではなく大人も楽しめる本で、貸出も多いです。

(事務局) 直木賞より、本屋大賞の方が若者受けしているように感じます。

(委員) 昨今の新型コロナの影響をどうしてもお聞きしたい。ニュースでは、学校がお休みになっているので親子で図書館に沢山の本を借りに来ているような映像が流れていますが、青梅市ではいかがでしょうか。

(指定管理者) 3月2日から青梅市図書館のサービスの一部縮小をしています。先に予約をいただき御用意できた資料の貸出および返却のみを窓口で行っています。館内に立ち入って本を探すこと、資料やインターネットの閲覧などはできません。ホームページでも事前に告知をさせていただきました。

全国的にも、図書館サービスの縮小、あるいは休館という対応が多いです。

青梅市図書館サービスの一部縮小の告知後、この週末は思ったよりも来館者が少なく、皆さんが自粛をなさっている傾向があったように

感じました。おそらく3月は貸出冊数等が非常に少なくなると予想しています。

(委員) 学校では人混みに出ないように指導しているので、外出を控えているのかもしれないです。

## (2) 令和2年度図書館事業計画について

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

(委員) 学校連携推進重点校、一日図書館長はどんなことをされるのでしょうか。

(指定管理者) 毎年、小学校1校を重点校とし、一日図書館長は重点校の児童を学校から選んでいただいています。今年度は5名でした。「一日図書館長」というタスキを掛け、お客さんに挨拶、事務室で事務作業、カウンターで返却本の受取り、返却本を書架に間違えないように分類順に戻す作業など、図書館職員のさわりの仕事を行います。他に図書館スタッフと館内を回り、図書館の使い方を学んでいただきます。

(委員) おはなし会が沢山計画されていますが、実際の参加者数をみると必ずしも多くない。10名、多い日ではこの倍、15組前後位という感じですか。また、おはなし会は、大体、同じような方が参加しているのですか。

(指定管理者) 参加者は常連が多いようです。おはなし会は、10名以上の参加者があると多い方だと思います。青梅市ではおはなし会が中止になることがありません。

(委員) それがその後の貸出や、子供が読書を好きになる方向へ具体的に結びついているのか検証はしづらいと思いますが、もう少し広がりがあると面白いと思いました。

## 3 協議事項

### 青梅市図書館基本計画について

(事務局) [資料にもとづき説明]

(委員) 説明の中で、貴重資料のことがありましたが、これ自体は基本計画なので、細部に渡る部分はこれを踏まえて今後練って行ければと思います。

歴史沿革では、全体として文章に年月まで入れているので、指定管理者制度の導入については「4月」を加えたらと思います。

今後の課題のところですが、未所蔵本のリクエストについて、現在、青梅市の図書館では未所蔵本のリクエストはどの範囲まで行っているのか、その上での課題などを教えてください。近隣の多摩の図書館からの取り寄せが未所蔵本のリクエストという形でできた記憶がありますが、現在はいかがでしょう。

(事務局) 未所蔵本のリクエストについては、協力貸出として、近隣6市町村をはじめとした都内の他自治体の図書館、そして都立図書館、都道府県等の図書館および国立国会図書館から取り寄せをしています。

(委員) その上での体制、構築の課題という理解ですね。

(事務局) はい。現時点では、青梅市の所蔵本はリクエストとして予約を入れられますが、青梅市に所蔵していない本については窓口もしくは電話等でリクエストをいただき手配するという形をとっています。未所蔵本のリクエストについても、OPAC(利用者用検索機)やインターネットからのリクエスト受付サービスを拡充することが課題となっているということです。

(委員) 同じく、今後の課題のところ、学校地域連携の課題部分の確認です。学校地域連携は学校図書館の情報化の推進として、予算がつけば学校図書館の電子化、電子管理化を進めるということでしょうか。学校図書館の電子管理化は必要だと思っていますので、是非、推進していただきたいと思っています。

また、文言をもう少し整理した方が良いでしょう。

(委員) 文言に予算を入れると予算だけが理由になり、未実施でこの話題を終わりにすると積極性が見えない。未実施の課題にもう一段踏み込み、今後推進したい、努めたいことを、協力や連携などの言葉を使い整理をしてもらえればと思い

ます。

(事務局) 文言は委員の皆様の御意見を元に事務局で整理、修正いたします。

#### 4 その他

(事務局) [前回協議会会議録について説明]

(会長) 以上で本日予定していた案件は全て終了いたしました。委員の先生方の皆様には長時間に渡りまして御協議を賜りまして大変ありがとうございました。

これもちまして、令和元年度第3回図書館運営協議会を閉会いたします。本日は大変御苦労さまでした。

以 上